

12/4 3度

大阪府議会

維新が議員定数削減案

「1票の格差」2.19倍に拡大

大阪維新の会は3日
に開かれた府議会の議
会改革検討協議会に、
「人口当たりの議員数
を全国最小値にする」
として、選挙区は現行
のまままで総定数を79へ

1割削減する案を提案
しました。「1票の格
差」が2.19倍に拡大
し、1人区が5選挙区
増えて36（全体の68
%）となり、死票がさ
らに増えます。「身を

切る改革」の名の下に
民意を切り捨て、民主
主義を後退させるもの
です。

維新の会は当初、定
数削減の条例改定案を
9月定例府議会（12月

17日閉会）に提出する
としていましたが、来
年2月の定例府議会に
提出するとしていま
す。

一方、日本共産党大
阪府議団は現行定数を
維持し、「1票の格差」
縮小、多くの死票を生
む一人区を減らす府議
会議員選挙区・定数の
改正案を提出しまし
た。

府議会の議員定数は
現在88、選挙区は53で
す。日本共産党の改正
案は、多様な民意を反
映する議会とするため
定数は現行を維持。任
意合区で31選挙区に
し、現在最大2.15倍
の「1票の格差」を1・

95倍（31選挙区（全
体の58%）ある一人区
を8選挙区（26%）に
減らすものです。

具体的には、政令市
は衆院小選挙区単位に
合併し、大阪市は現行
21選挙区を6選挙区に
し、256人区に、堺
市は現行6選挙区を2
選挙区にし、それぞれ
4人区にします。

政令市以外では、現
行選挙区のうち人口が
議員一人当たりの人口
(10万4,228人)に達
しない摂津市、貝塚
市、交野市をそれぞ
れ、吹田市、泉佐野市
・熊取町、枚方市と合
併し、他は現行通りと
します。